

(様式1-2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名		街路		路河川名等	(都)岡谷川岸線 <(主)下諏訪辰野線>			
事業毎の通番		1	市町村名	岡谷市	箇所名(ふりがな)	川岸(かわぎし)		
事業概要	事業目的	本路線は岡谷市の東西を横断し、諏訪地域と上伊那地域を結ぶ都市の骨格を形成する幹線街路である。沿道は主に準住居地域に指定されており、住宅地が形成されている。また、第一次緊急輸送路にも指定されている重要な路線である。岡谷市川岸地区においては、慢性的に交通渋滞が発生し、地域の経済活動に支障をきたしている。また、現道は川岸小学校の通学路に指定されているが歩道は狭く、児童や生徒と通行車両が錯綜し、交通安全上問題が生じている。このため、本事業により歩道及び車道の整備を行い、安全で安心な都市環境の形成を図りたい。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	都市計画法			
	関連する事業、計画等	岡谷都市計画区域マスタープラン、岡谷市都市計画マスタープラン						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象(不特定多数):計画自動車交通量 17,930台/日						
	着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	2027年度(令和9年度)	費用対効果	1.2		国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=870.0m、W=7.0(14.0)m			3,000,000	1,650,000	300,000	945,000	105,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	幹線道路の整備による交通の円滑化及び安全性の向上 歩道整備による歩行者の安全確保 災害に強い道路						
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 安全・安心な道路を整備することで、既存市街地の人口流出抑制並びに定住化を図る						
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 17,930台/日 ○交通結節点アクセス : JR中央線川岸駅 ○地域の骨格・環状を形成 : 延焼防止機能(幅員14m) ○地域の特性 : マスタープラン早期整備路線						評価 A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : しあわせ信州創造プラン2.0、岡谷都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定 : 県緊急輸送路(1次)に路線指定 ○無電柱化の推進 : 次期計画で位置付け検討						評価 A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.24 ○事業期間 : 7年間 ○工法等の比較検討 : 工法、構造について検討あり						評価 B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 11件/3年(内人対車両2件) ○渋滞対策・混雑度 : 混雑度1.56 ○通学路対策 : 合同点検箇所、歩道幅員1.0m ○自転車対策 : 自転車歩行者道に指定が可能						評価 A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(R1.10.1、R1.11.28事業説明会を開催) ○地域の取り組み : 積極的である ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : まちづくり勉強会を実施 ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック : 6-4						評価 A
	建設部公共事業評価委員会の意見	当路線は都市の骨格を形成する幹線街路であるが、慢性的に交通渋滞が発生し、地域の経済活動に支障をきたしている。また、通学路に指定されているものの歩道が未整備となっており、児童や生徒と通行車両が錯綜し、交通安全上問題が生じていることから、早期の整備が必要であり、安全で安心な都市環境の形成のため事業着手が妥当と判断する。						採択状況 総合評価 ○ A
長野県公共事業評価委員会の意見	建設部公共事業評価委員会の意見が妥当と判断する。						○ A	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	事業着手			

【位置図、平面図、構造図等】

位置図

平面図

【整備の必要性がわかる状況写真等】

標準横断面図

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

都市計画道路岡谷川岸線は、岡谷都市計画区域マスタープランにおいて、岡谷市街地と川岸地区を結ぶ幹線道路に位置づけられている。本事業区間は、主要地方道下諏訪辰野線であり、岡谷市と上伊那地域を結ぶ道路であることから、広域的な都市間連結、地域間交流や災害時の緊急輸送路として重要性の高い道路であり、早急な整備が必要である。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

本事業区間は、通勤、物流などの地域間交通により恒常的に自動車の渋滞が発生している。また、付近に小、中学校があることから、歩行者の安全の確保が求められている。このため、恒常的な渋滞の解消や、歩行者、自転車利用者の安全な歩行空間の確保を要望されている。

③事業説明等の経緯

- ・岡谷市による聞き取り調査(H29.2~3、R1.7~8)
- ・相談会(H29.8.2)
- ・区民説明会(R1.10.1)
- ・関係者説明会(R1.11.28)

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

しあわせ信州創造プラン2.0、岡谷都市計画区域マスタープラン

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

周辺住民と協働したまちづくり活動や事業と連携した、持続的な自然環境、生活環境維持への取組について地域と検討中。

⑥地域活性化への影響と配慮

本事業により交通の円滑化が図られ、周辺住民の安心安全の向上、付近の精密工業施設等の活性化も期待される。

⑦その他

事後・再評価からのフィードバック

整理番号6-4
地域の抱える交通問題解決のため、周辺道路網の整備を含めて市とも連携し検討中

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 138° 00' 00" 00
東経:E 36° 00' 00" 00